

ニプロ ウイングハロー トラクタ外部油圧開閉 ※外部油圧用カプラは別途御購入ください。

WLD10シリーズ (80~140ps)



WLD5010NX (5m クロスウイング)

WLD6010NW (6m パラレルウイング)

WLD5510NX (5.5m クロスウイング)

WLD6510NW (6.5m パラレルウイング)

作業幅と折りたたみ方式で選択!!

規模拡大に応えるワイドな作業幅!!

プロ農家のニーズに応える高い性能と耐久性!!

X クロス
ウイングW パラレル
ウイング

WLD5510NX-OL



WLD6510NW-OL

充実した耐久性とメンテナンス性

●耐久性と性能を極めたM290Gを新採用

爪の摩耗を抑えたM290G爪(シルバー爪)を新開発しました。爪の板厚をあげるとともに作用部の幅を25%アップさせ、さらに作用部に溶着加工を加えることで、耐久性を大幅に上げました。大規模な作業面積に対応しています。



爪中央部から先端にかけて背部を「へ」字にプレスした3D曲面にすることで後方への土の吐き出しを抑えるとともに碎土率も向上し、安定した代掻き作業ができます。

●消耗部品の耐久性アップ

各チェーンケースガードの板厚を上げることで交換時期を延ばしました。チェーンケースガード横も板厚が厚いものを使用し、新採用のM290G爪及びフローティングシールなどとともに機体全体の消耗品の耐久性をあげています。



●チェーンケース押さえ金を使用

チェーンケースカバーに押さえ金を使用することで、ボルトの締めすぎによるチェーンケースカバーの変形を防ぎます。またパッキンからの油漏れも防止しています。



●フローティングシール採用でシール寿命大幅にアップ

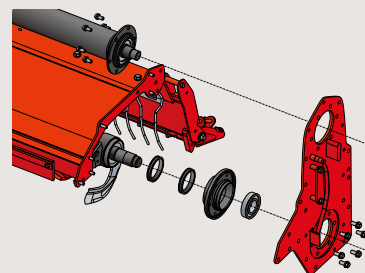
軸受部には耐久性で定評のあるフローティングシールを採用しました。作業時の泥水の侵入を強力に防ぐとともにシールの交換時期も大幅に伸びました。



●メンテナンス性を高めた耕うん軸ボス分割構造

チェーンケースの耕うん軸ボスを分割式にしました。このことによりシール・ベアリングが入ったボスを耕うん軸から簡単にはずすことができるようになり、シール交換、ベアリング交換が楽な姿勢で非常にやりやすくなりました。

またボスもスプロケット側からボルト止めしてあり、爪軸側に手を入れなくとも外せる構造になっています。チェーンケースも内側はボルトガードを設けボルトの供回りを防止して外しやすくなっています。



●オイル交換が容易なミッションケースラクラクドレーン

ミッションケースのドレーンボルトは延長ホースを採用し、古いオイルが抜きやすいようにしました。安全な姿勢でオイルを抜くことができます。またチェーンケースのオイル交換も楽な姿勢でオイルが抜けるよう配慮しました。



●進化した開閉システム

長時間の作業による操作ボックスNコンの電池切れを防ぐためにトラクタの外部電源取り出しを利用するDCアダプターキットを標準装備にしました。

操作ボックスの開始を押すとレーキが自動で土寄せの位置にセットされ、開閉が確実にできるようプログラミングされています。万が一操作ボックスによる開閉ができない場合は電磁弁を手動操作することで開閉が可能になります。ハーネスの結合部分はトラクタキャビン内で結合できるよう電源ケーブルが長くなっています。



■主要諸元

型式・区分	機体寸法			質量 ^{※2} kg	作業幅 ^{※3} cm	適応馬力 kW(PS)	作業速度 km/h	作業能率 分/10a	爪回転数 rpm	爪本数 本	備考
	全長 mm	全幅 ^{※1} mm	全高 mm								
WLD5010NX	4L/3L/0L	5230(2450)	1040	960	501(218)	58.9~103.1 (80~140)	2.0~5.0	3.0~7.5	PT0540 rpm時 277 rpm	L・R各61 BL・BR各2	クロス ウイング
WLD5510NX		5685(2450)		1000	547(218)					L・R各67 BL・BR各2	
WLD6010NW		6270(3490)		1095	605(322)					L・R各75 BL・BR各2	パラレル ウイング
WLD6510NW		6725(3490)		1125	651(322)					L・R各81 BL・BR各2	

注1: ()内は全開時の寸法 注2: 質量は0Lでスタンドなしの質量。4Lは+65kg、3Lは+60kg、スタンド付は+45kg
○推奨トラクタ重量は3トン以上(前輪付担荷重22%以上になるようにウェイトを装着してください)

注3: ()内は全開時の作業幅

※本仕様は改良の為予告なく変更することがあります。

松山株式会社

本社: 〒386-0497 長野県上田市塩川5155 ☎(0268)42-7500 FAX(0268)42-7556
物流センター: 〒386-0497 長野県上田市塩川2949 ☎(0268)36-4111 FAX(0268)36-3335
北海道営業所: 〒068-0111 北海道岩見沢市栗沢町由良194-5 ☎(0126)45-4000 FAX(0126)45-4516
旭川出張所: 〒079-8451 北海道旭川市永山北1条8丁目32 ☎(0166)46-2505 FAX(0166)46-2501
帯広出張所: 〒082-0004 北海道河西郡芽室町東芽室北1線18番10 ☎(0155)62-5370 FAX(0155)62-5373
東北営業所: 〒989-6228 宮城県大崎市古川清水3丁目石田24番11 ☎(0229)26-5651 FAX(0229)26-5655
関東営業所: 〒329-4411 栃木県栃木市大平町横堀みずほ5-3 ☎(0282)45-1226 FAX(0282)44-0050
長野営業所: 〒386-0497 長野県上田市塩川2949 ☎(0268)35-0323 FAX(0268)36-4787
岡山営業所: 〒708-1104 岡山県津山市綾部1764-2 ☎(0868)29-1180 FAX(0868)29-1325
九州営業所: 〒869-0416 熊本県宇土市松山町1134-10 ☎(0964)24-5777 FAX(0964)22-6775
南九州出張所: 〒885-0074 宮崎県都城市甲斐元町3389-1 ☎(0986)24-6412 FAX(0986)25-7044

⚠ 注意 安全のため、製品に添付の取扱説明書、「安全に作業をするために」をよく読んでから作業しましょう。

お問い合わせ

製品についての詳しいお問い合わせは、左記本社営業部または各営業所までご相談下さい。

BIG WING WLD10NXシリーズ

WLD5010NX(5m)
WLD5510NX(5.5m)

●クロスウィング開閉方式(X仕様)

WLD5010NXとWLD5510NXはセンター格納幅を245cm抑えたクロスウィング開閉方式を採用しています。トラクタにセットするとコンパクトな幅にまとまり、作業時はワイドな作業幅になります。車載車に載せての移動も可能です。



BIG WING WLD10NWシリーズ

WLD6010NW(6m)
WLD6510NW(6.5m)

●パラレルウィング開閉方式(W仕様)

WLD6010NWとWLD6510NWはセンター格納幅を349cmに設定してウィング部がセンターと平行に折りたためるパラレルウィング方式を採用しています。

圃場外周を折りたたんでセンター部のみで作業した場合、一本物のドライブハローと全く同じ性能を発揮することが可能です。特にトラクタに水田車輪を装着させる場合、車輪幅を十分カバーした作業幅になります。



WLD10シリーズは農業機械等緊急開発事業(緊プロ)に基づき開発された機械です。

充実した機能

●スイングラバーで高い均平性能

トラクタが左右に傾いてもスイングラバーのしなやかさが傾きを吸収して、整地をしてゆくレーキは絶えず水面を追うようになります。

特に作業幅がワイドのウィングハローにおいてはよりスイングラバーの効果が発揮されます。



●高い均平度と高速作業を実現するソイルスライダー

大型トラクタの幅広のタイヤ跡を消し、均平に仕上げる可動式ソイルスライダーを装備しています。可動式のためクロウなどの幅広タイプにも合わせることが可能です。

車輪跡が消えることで高い均平度を確保でき、また作業速度を上げることが可能です。(WLD10NXは内側のみ可動式です。)



●あぜ際すっきり 新形状「舟形ガード」採用

あぜ際のチェーンケースカバーによる残耕を処理するために新形状の「舟形ガード」を採用しました。船首の形状でウィングハロー内側に残耕部を呼び込み、処理します。またあぜに沿いやすい形状としたことであぜの破損も抑える役割も果たしています。

稲わら等の雑物を引きずりにくい形状となっており、均平性もあがっています。また作業面積が大きいプロ農家様のニーズに応えるために素材もクラス最厚として耐久性もあがっています。



●圃場条件に対応できる 均平板加圧機構

様々な圃場条件に対応できるように均平板加圧機構を標準装備としました。加圧状態は強・弱及びフリーの3段階の調整が可能です。

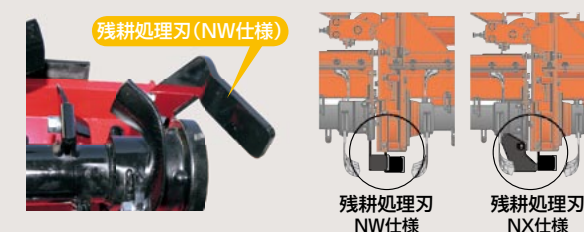
特に強粘土のこねの悪い圃場でしっかり土塊を抑え、碎土率向上し作業能率向上に貢献します。



●残耕処理刃を標準装備

センター作業部と左右の作業部の接合部分には残耕処理刃を標準装備しました。残耕を極力少なくすることで碎土を均一化して作業能率の向上につなげています。

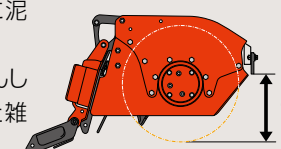
特に左右のウィング部のセンター側に残耕処理刃を取り付けたことで接合部分の残耕を減らしました。



●埋め込みと攪拌性能を上げた 前カバークリアランス

耕うん部カバー前部と爪のグランドラインまでの距離を大きくとりました。1回目の粗代掻き時に泥と雑物の呑み込みがよくなります。

このためにロータリーで耕うんした全層の攪拌ができます。また雑物の埋め込み性能もあがります。



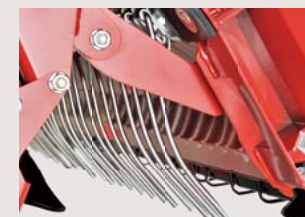
●泥跳ね防止と整地を兼ねた ラバークレーダー装備

トラクタ側への泥跳ねを防止するラバークレーダーを装備しました。作業速度を上げるため、あるいは碎土性を上げるために爪軸の回転を上げて使用した場合、有効な機能となります。また厚手のゴムを使用していることから、代掻き時に圃場の若干高くなった部分を押ししてくれますので、より均平度の高い作業ができます。



●大型スプリングレーキ採用

爪後方の大型スプリングレーキとレーキ下部のスプリングレーキにより稲株や雑物をきれいにすき込みます。



●エジェクターレーキと波型延長レーキで水流調整

エジェクターレーキと波型延長レーキの採用により水流を安定させ均平性をあげるとともに、雑物の浮き上がりも抑えます。

